

J Rの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

動労千葉3・15~16スト

外注化撤回！検査派出廃止・縮小やめろ

～闘いの要求～

- 1 職名廃止の撤回、業務融合化の中止
- 2 すべての外注業務の再直営化
- 3 本線運転士の抜本的行路緩和と十分な要員配置、ワンマン運転の中止
- 4 上総一ノ宮検査派出廃止、木更津派出体制見直しの撤回
- 5 京葉線快速列車廃止提案、久留里線廃線化計画の中止
- 6 J R貨物の3月ダイ改における諸要求、労働条件の改善、要員不足の解消
- 7 定年延長と70歳まで働ける労働条件の確立

3月16日のダイ改に対し、動労千葉は3月15～16日のストライキの方針を確立しました。

コスト削減・安全切り捨てやめろ

今回のダイ改では、上総一ノ宮派出廃止と木更津派出縮小が強行されようとしています。この間、車両不具合などが急増し、獣害も増加しています。派出廃止・縮小を強行すれば、検査・保守体制が一気に弱体化します。コスト削減を優先し、安全を切り捨てる暴挙です。これは外注化の破綻でもあります。CTSで車両検修のプロパーを養成すると行ってきましたが、あまりの低賃金と将来展望のなさから退職が止まらないのが現状です。

エルダー出向者が大量退職期を迎える中で要員のメドもたてられず、それならば派出ごとつぶしてしまえ”とばかりに廃止・縮小を強行することは許せません。

すべての外注化の撤回を

外注化の矛盾は安全の崩壊としても表れています。この間、重大事故が続発し、昨年は内房線で感電死亡事故も発生しました。今年1月にも東北新幹線大宮―上野間で停電・感電事故が起きています。

こうした事態の原因は、外注化やコスト削減で安全を軽視し、破壊してきたことです。現場をないがしろにする施策が「事故の続発」という形で表れています。

今こそすべての外注化を撤回すべきです。ストライキで闘う動労千葉とともに「3月ダイ改、検査派出廃止・縮小撤回」「外注化撤回」の声をあげよう。

スト貫徹！動労千葉総決起集会

日時 3月16日（土） 14時

場所 千葉市民会館地下ホール